

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

第 61 代会長 大箭 剛久

第 61 代幹事 杉田 祐一

Painted by Kenzo Tanaka

2020-2021 年度

ロータリーは機会の扉を開く

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL : 0467-83-6060 FAX : 0467-83-9915

メール : c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL : 0467-87-0002

2021 年 3 月 4 日(木) 第2918回例会[オンライン] 天候:晴れ 司会:加瀬義明副幹事 No. 25

≡本日の例会行事≡

◇歌唱 割愛

◇会長挨拶

◇幹事報告

◇委員会報告 ゴルフ同好会

◇卓話 「60 周年事業の進捗と記念誌編纂の方向性について」 河本啓伸会員 (60 周年実行委員長)

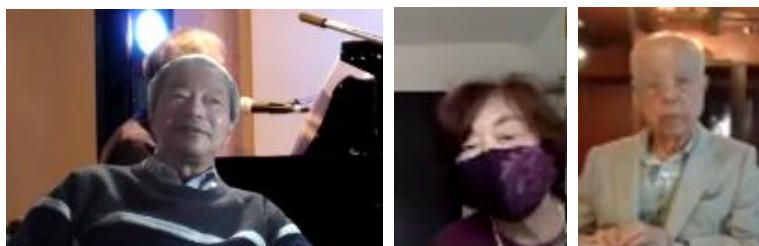


◎ゲスト・ビジター紹介

岩澤淑江様 (元当クラブ会員)

◎委員会報告

ゴルフ同好会 [伊藤和明会員] : 3/24、湘南シーサイドカントリークラブにてコンペを開催します。



左から 卓話の河本 60 周年実行委員長、ゲストの岩澤淑江様、「元会です」とあいさつされた伊藤留治会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
3/4	2918	40	32	32	0	0	100%	
2/18	2916	40	29	28	1	0	100%	100%

卓話「60周年事業の進捗と記念誌編纂の方向性について」河本啓伸会員

3月4日現在、緊急事態宣言下であり、まだしばらくの間は気軽に集まって、ワイワイしながら事を進めていくのは憚られる状態が続くと予想されます。しかし、こうした状況で人間は単にひれ伏すだけでなく、オンラインで顔を見ながら双方向で情報を交換することを日常化させてきました。これをおそらく「知恵」と呼ぶのでしょうか。そうした意味で、2020-2021年度は世界史上でも、そしてロータリークラブ史上に於いても、特記されるべき1年であり、失ったものも多いですが、これからの方向性を考え直すという意味では、得るものも多かったと考えたいですね。

さて、ご存じのように、今年度はクラブ創立60周年という記念すべき年であり、大箭会長も様々なイベントを考えておられました。私は2010-2011年度の50周年時の会長ということもあってか、60周年実行委員長という任を授けられました。年度が始まる前は、主な仕事は大箭会長の考えを咀嚼し、やりたいと思うことをできる限りフォローする役割だと考えていましたし、会長にもそう伝えていました。ところが、新型コロナウイルスの影響は我々の予想を遙かに上回るものがあり、2020年9月に市民文化会館にて予定されていた「宝塚歌劇団OGたちによる『わが心のふるさと・宝塚』」は中止のやむなきに至り、4月に予定されていた記念式典関連では前夜祭・親睦旅行は中止、式典そのものも現時点では6月17日に延期という大幅変更となっています。

それに伴い、式典のやり方も、従来通りのプランAに加えて、クラブ会員とその家族だけが集まり、その他のお客様についてはオンラインでの登場をお願いするというプランB、さらには状況により、その中間のプランCも準備しておく必要が生じています。少なくとも姉妹クラブの台北西北クラブや、姉妹クラブつながりのフィリピン・マンダロンクラブといった海外のお客さんを招くのは難しく、東京・世田谷クラブや大阪・茨木クラブも、来場頂くのは、よほど状況が改善されていないと厳しいかと思われます。結果として、プログラムもかなり変更する必要があり、新たなコンテンツとして「茅ヶ崎ロータリークラブ60年の足跡」といった動画(写真右下)を準備して、会場内の進行を姉妹クラブにもオンラインで見てもらおうという方向で進行しています。

さらに、記念誌についても当初の想定とはかなり違うものにならざるを得ない状況です。「この10年の各年度会長(もしくは幹事)に担当年度を振り返ってもらう」「会員歴30年以上のベテラン会員に茅ヶ崎ロータリークラブの今昔を語ってもらう」「関係各位からの祝辞を頂く」「同好会の活動状況を報告してもらう」「60年の歴史を編纂し直す」といったコンテンツは従来の想定通りにやりたいと考える一方、会員一人一人の「コロナ禍に於ける現状を踏まえつつ、未来のロータリークラブ像を語って頂く」ということを是非実施したいと考えます。具体的に言うと、各会員持ち時間1分程度で「これからはロータリークラブを通じてこんなことをしたい」とか「茅ヶ崎ロータリークラブとこういう携わり方を考えている」「茅ヶ崎ロータリークラブのここをこう変えたい」といったことを語って頂き、それを動画で撮り、記録として残したいと思います。1分というのは短いようで意外に長いものです。文字数で言うと、ノーマルスピードでおおよそ300字だとお考え下さい。

お薦めは「言いたいことを整理する→一旦文字に起こしてみる(300字程度)→何度か黙読して全体内容を確認する→今度は時間を計りつつ音読してみる→読むスピードを調整する」というプロセスを反復することです。せっかく動画に残すわけですから、ちょっとした準備を是非よろしくお願い致します。

動画の撮影ですが、オンラインで出来る方はZOOM等を通じてでも可能です。オンライン例会後の時間を利用出来ますので、面倒はないかもしれません。また、自撮りしてその映像を何らかの形で頂いても構いません。もちろん、問題がなければどこか(リアル例会が再開されたあとのコルティエールとか)で、早ければ今月中からやれればと思います。まず、「自撮り」か「オンライン」か「リアル対面撮影」かを選択して頂くところから始めたいと思います。この選択につきましては、本日出席の方については挙手で、欠席の方については、のちほど杉田幹事をお願いして、方法を選択して頂くように致します。

撮った動画はある程度編集をして、少なくとも何らかの方法で会員は他の人のものも観られるようにします。さらに、せっかくですので、お話し頂いた内容は紙媒体の記念誌にも残すように致します。式典の時期が6月にずれ込んだことや新たなアイデアが出たこともあり、記念誌の発行も年度を跨ぐことになろうかと思いますが、ご了承下さい。また、中止となった親睦旅行に代わって、何か会員が参加意識を持ってやれることがないかと模索しているところです。現在、候補として考えられているものとして

①著名人を招聘しての講演や双方向の交信
②J:COMさんに力を貸してもらっての茅ヶ崎RC持ち込み企画=オリジナル番組【震災後10年を意識したもの】

それが実現出来るかどうかは、現時点では不明ですが、密な状態を作らず、さらに皆さんが積極的に参加しようという気持ちを持てる企画にしたいと考えていますので、是非ご協力をお願い致します。

- ①著名人を招聘しての講演や双方向の交信
- ②J:COMさんに力を貸してもらっての茅ヶ崎RC持ち込み企画=オリジナル番組【震災後10年を意識したもの】

それが実現出来るかどうかは、現時点では不明ですが、密な状態を作らず、さらに皆さんが積極的に参加しようという気持ちを持てる企画にしたいと考えていますので、是非ご協力をお願い致します。

60年を振り返る 第61年度 2020[令和2]-2021年

RIテーマ：ロータリーは機会を開く
RI会長：ホルガー・クナーク(ドイツ)
ガバナー：久保田英男(鎌倉RC) ガバナー補佐：笠間治一郎(綾瀬春日RC)

年度当初会員数：41名
9月、60周年記念事業、宝塚歌劇団OGによる『宝塚・我が心の故郷』がコロナ感染拡大により中止
2月4日、当クラブ初のオンライン例会開催
2月、茅ヶ崎市保健所に電動自転車等を寄贈(60周年記念事業の一環)
高校野球甲子園大会・インターハイなど中止

この年のキーワード
無観客試合、鬼滅の刃、GoToキャンペーン、藤井棋聖

会長 大箭剛久
幹事 杉田祐一

合水
境人「香水」